

平成 29 年度 新潟県立十日町高等学校 シラバス

教科名	科目名	学科・学年・類型	単位数
家庭	家庭基礎	普通科・2 学年・理系文系	2
教科書 副教材等	[主たる教材] 実教出版 新家庭基礎 パートナーシップでつくる未来 [副教材] 第一学習者 最新 生活ハンドブック 資料&成分表		

1 科目の目標

1. 人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などに関する知識を総合的に習得する。
2. 学習した知識や技術を活かし、家庭や地域の生活課題を主体的に解決する態度を育成する。
3. 家族や社会との共生を目指し、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

2 科目の内容

- (1) 人とかかわって生きる
- (2) 生活をつくる
- (3) 消費者として自立する

3 授業計画

月	内 容	配当 時間	指導上の留意点
4 月 5 月 6 月	【1編】 人とかかわって生きる 〈1章〉 自分らしい生き方と家族 ・生活設計・男女共同参画社会・家族の機能・民法・労働・職業意識 【2編】 生活をつくる 〈1章〉 食生活をつくる ・食生活の現状・栄養素・食事摂取基準・食品の選択・実習・食料事情 ・実習・食料事情	24	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校での学習内容との系統性 ・食品成分表の見方を習得させる ・安全に実習できるように準備をする ・担任と連絡を密にし、実習班構成に配慮する
7 月 8 月 9 月 10 月 11 月	【2編】 生活をつくる 〈2章〉 衣生活をつくる ・衣服の機能・衣服の素材・衣服の管理 ○夏休み課題 ホームプロジェクト ・衣服の資源・環境・製作 【1編】 人とかかわって生きる 〈2章〉 子どもとかかわる ・子どもを知る・子どもの発達、発育・子どもの生活・子どもの福祉 【1編】 人とかかわって生きる 〈3章〉 高齢者とかかわる ・高齢社会・高齢者を知る・シニア体験・介護保険制度	28	<ul style="list-style-type: none"> ・自分にとって改善が必要な生活課題に取り組ませる ・安全に実習ができるように準備をする。 ・視聴覚教材の活用 ・キャリア教育との連携 ・ライフコースの参考になる各種例や資料を指めす ・安全委実習ができるように準備をする
12 月 2 月 3 月	【1編】 人とかかわって生きる 〈4章〉 社会とかかわる ・社会保障制度・共に生きる 【3編】 人とかかわって生きる 〈1章〉 消費行動を考える ・消費行動・契約・消費者信用・消費者の権利と責任 ・環境問題 〈2章〉 経済的に自立する ・家計管理・経済的な自立 【2編】 生活をつくる 〈3章〉 住生活をつくる ・住まいの機能・住空間・住まいの環境・安全な住まい・これからの住まい	18	<ul style="list-style-type: none"> ・シュミレーションゲームの活用 ・見取り図の見方を習得させる

計 70 時間 (55 分授業)

4 学習評価

評価の 観点 ・ 規準	①関心・意欲・態度 家庭や地域の生活について関心を持ち、その充実向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身につけている。	②思考・判断・表現 家庭や地域について課題を見だし、その解決を目指して思考を深め適切に判断し工夫し創造する能力を身につけている。	③技能 家庭や地域の生活を充実向上させるために必要な基礎的・基本的な技術を身につけている。	④知識・理解 家庭生活の意義や役割を理解し、家族や地域の生活を充実させるために必要な基礎的・基本的知識を身につけている。
評価 方法	学習への取り組み状況 ワークシート 実習態度 提出物	ワークシート 実習への取り組み状況 定期考査	実習における観察 提出作品の内容	レポート内容 定期考査

5 担当教員

家庭科教諭

6 担当者からのメッセージ

家庭基礎では、自立した生活者としての基礎的・基本的な学習を行います。定期考査だけではなく、提出物や授業・実習に対する意欲や態度も重視します。将来の自分を想像し、自分の生活をデザインする力を身につけられるよう取り組みましょう。